

## 消費税表示カルテルに関するアンケート調査結果

(一社) 日本医薬品卸売業連合会会員企業によるアンケート調査結果

(単位:%)

(調査期間 : 平成27年10月20日～11月13日)

		全取引軒数	調査軒数	説明あり <sup>(注2)</sup>	理解できる <sup>(注3)</sup>	協力する <sup>(注4)</sup>
医療機関	200床以上病院	2.5	1.7	84	72	54
	中小病院	4.7	3.0	80	69	58
	診療所	54.8	28.4	74	63	55
	計	62.0	33.1	75	64	55
薬局	20店舗以上のチェーン薬局	3.1	1.0	70	57	45
	その他保険薬局	34.9	19.2	78	67	56
	計	38.0	20.2	77	66	56
合計		100.0	53.3	76	65	55

注) 1「説明あり」「理解できる」「協力する」に表示された数値は、それぞれの調査軒数に対する指数

2「説明あり」の指数は、卸から消費税表示カルテルの説明があったと回答した軒数の指数

3「理解できる」の指数は、薬価に消費税相当額が加算されていることや消費税表示カルテルの内容を理解できると回答した軒数の指数

4「協力する」の指数は、消費税表示カルテルに協力すると回答した軒数の指数

### 「消費税表示カルテルに協力できない」と回答した場合の主な理由

- ・ 薬価に消費税相当額が含まれているということが納得できない。(制度上の問題)
- ・ レセプト請求が全て薬価で行われており、本体薬価の概念がない。(制度上の問題)
- ・ これまでの薬価と税抜納入価の乖離率での表示に慣れており、混乱させたくない。(ユーザーの問題)
- ・ 院内で決められた様式があり、それに合わせてほしい。(院内システムに本体薬価が登録されていない。)(ユーザーの問題)
- ・ 従来の価格との比較が難しい。併記してもらえれば協力できる。(ユーザーの問題)